

香川県前向きに頑張る事業者を応援する総合補助金 活用事例No.8

事業分野	④情報通信業	従来からの 事業分野	④情報通信業
事業名	クラウド型のシステムを用いた保育士の働き方改革と顧客満足度の向上		
事業概要	病児保育施設において複雑な計算が必要な病児の受け入れ可能人数を可視化するとともに、施設に空きが発生した時に保護者にお知らせするシステムを開発する。		
取組写真	 <p>子供の体調 が悪い・・・ 仕事があるのに・・・</p> <p>親は頼れる？ 病児保育ってなに？ 予約はどうするの？ 情報の伝え忘れは？</p> <p>病児保育は、毎日の予約管理や書類作成のお仕事がたくさん…。すべて「クラウド」で解決しました！</p> <p>は実際の病児保育室で、一から組み立てられた病児保育システム。現場経験からのご提案や、あらゆる事情を想定した幅広い拡張性とクラウドであなたの地域や保育施設に最も適した運用を実現します。</p>		
既存事業の内容	<p>実際の病児保育室で、一から組み立てられた病児保育システムの開発・運用のほか、医療機関の電子カルテと連携した業務効率化システムを開発・運用等、病児保育室や医療機関の業務効率化支援や、ホームページ制作を行っている。</p> <p>無料の老人ホーム紹介、お年寄りの生活に関する相談事業など、高齢者向けサービスを展開している。</p>		
取組内容	<p>病児保育の経営課題として予約の複雑さと機会損失が大きいということがあった。そこで、病児保育オリジナルのプログラムを作り、年齢や病気の症状を考慮した予約システムを開発した。さらに、インターネットから予約をキャンセルした際、施設側からお断りした子どもの保護者あてに自動的に空きができたお知らせメールを届け、機会損失を減らすシステムの開発に取り組んだ。</p>		
補助事業の効果・成果	<p>システムを導入している施設にて、残りの受け入れ人数の把握が保育士間で行えるようになった。これまでは保育主任が経験により受け入れ人数を想定していたが、児童の月齢に応じて数値化することで経験に頼らず、すべての保育士が把握できるようになり、結果的に受け入れ人数に余力ができた。</p>		
参考となるポイント等	<p>システムを利用することで保育士の働き方改革、保護者はインターネットを通じた予約が可能になり双方にとってメリットがある。</p> <p>補助事業者は長年病院運営に携わっていたスタッフが代表を務めており、今後も現場のニーズに沿ったシステム開発や横展開が期待される。</p>		